



平成 30 年 1 月 19 日

各 位

会 社 名： ア サ ヒ 衛 陶 株 式 会 社
代 表 者 名： 取 締 役 社 長 町 元 孝 二
(コード番号： 5341 東証第二部)

問 合 せ 先： 取 締 役 丹 司 恭 一
企 画 管 理 部 長

電 話 番 号： 06-7777-2073

通期業績予想数値と実績数値との差異に関するお知らせ

平成 29 年 7 月 14 日に公表いたしました平成 29 年 11 月期通期業績予想数値と本日公表の実績数値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 11 月期通期連結業績予想数値と実績数値との差異(平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 11 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,400	百万円 25	百万円 15	百万円 5	円 銭 0.35
今回実績数値(B)	3,080	△68	△67	△85	△5.90
増減額(B-A)	△320	△93	△82	△90	
増減率(%)	△9.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 11 月期)	2,803	△238	△250	△294	△20.39

2. 通期連結業績予想数値と実績数値との間に差異が生じた理由

前回予想発表時に織り込んでおりました住宅会社向けのトイレセット及び洗面化粧台の販売強化が、取引先での標準採用の獲得に至ったものの、先方の設計・仕様変更に予想以上に時間を要したことにより、商品の本格納入が平成 30 年 11 月期へずれ込む見込みであるため、当該トイレセット及び洗面化粧台の売上高が計画と比して大きく下回りました。

次に、温水洗浄便座の新規取引先の開拓及び温浴施設水質改善事業である「カラム」の販売についても、価格などの条件面での交渉に時間を要したため、平成 29 年 11 月期の間には販売することが出来なかったため、売上高が伸び悩んだ要因のひとつとなりました。

これらの売上高の伸び悩み要因により、売上高が前回予想発表時を下回ることとなりました。

また、利益面においても、外注加工先から香川事業所への生産移管・集約が完了したことなどにより利益率の改善や経費削減の面では当初予定を上回るコスト削減が出来たものの、上記の売上高の減少とそれに伴う在庫評価減の増加により、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を下回ることとなりました。

3. 平成 29 年 11 月期通期個別業績予想数値と実績数値との差異(平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 11 月 30 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,300	百万円 15	百万円 5	円 銭 0.35
今回実績数値(B)	2,966	△73	△88	△6.11
増減額(B-A)	△334	△88	△93	
増減率(%)	△10.1	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 11 月期)	2,763	△245	△289	△20.05

4. 通期個別業績予想数値と実績数値との間に差異が生じた理由

上記の通期連結業績予想数値と実績数値との間に差異が生じた理由と同様の理由によるものであります。

以 上